

令和 7(2025)年目黒会首都圏総支部総会

令和 7(2025)年 9 月 13 日

議事

- 第 1 号議案： 令和 6(2024)年度活動報告、会計報告および監査報告
- 第 2 号議案： 令和 7(2025)年度活動計画および予算
- 第 3 号議案： 役員および役割分担について

第 1 号議案：令和 6(2024)年度活動報告、会計報告および監査報告

会員の皆様には様々な形で首都圏総支部にご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

首都圏総支部は、平成 17 (2005) 年 9 月 24 日に創設され、現在東京、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨、新潟の 1 都 8 県在住の(正会員約 6 千人を含む)会員約 2 万人を対象に活動を行っております。

2024 年度の活動は会員間の相互交流を促進する方針に則り、対面開催を基本としつつも遠隔地在住など対面参加が困難な方の参加を容易にするという観点からオンライン方式を併用し、総会、秋の交流会(注：初めて新潟県内で開催)、母校発祥地(注：本学の前身が目黒に移転する前の場所)の桜を見る会の 3 イベントを開催してまいりました。これら 3 イベントの内容や実施要領、振り返り等については、8 回の役員会を通して意識合わせを行いました。年度全体では 3 つのイベントでのべ 80 名(うち総支部会員 66 名、家族 4 名)の方に参加を頂きましたこと、皆様のご支援とご協力にあたためて感謝申し上げます。

■活動報告

1. 首都圏総支部総会 (2024 年 7 月 20 日(土))

7 月 20 日(土)の 15 時から、2024 年総会を 2023 年と同様、対面を主として Web ツールを使用したオンライン方式を併用したハイブリッド方式で開催しました。総会ではご来賓 3 名(1 名はご講演の正本先生)、首都圏総支部会員 32 名、国内他支部から 4 名、合計 39 名(うち Web でのオンライン参加 2 名)、懇親会にはご来賓 3 名、首都圏総支部会員 24 名、国内他支部から 2 名、合計 29 名のご参加を頂きました。Web でのオンライン参加は、遠隔地在住など対面参加が困難な方の参加を容易にするという観点から、今後も併用して行きますが、今回はオンラインの接続が頻繁に切断してしまい、オンラインで参加頂いた皆様にはご迷惑をお掛け致しましたこととお詫び申し上げます。

総会・懇親会とも山崎成副総支部長が進行役を務めました。総会は、15 時より学内の新 C 棟 2 階、203 教室で開催され、竹田智彦総支部長が議長を、宮澤信一郎副総支部長が書記を務め、前年度の活動報告、会計報告及び監査報告、今年度の活動計画及び予算、役員および役割分担について審議され、質疑応答を経て承認決議されました。議事終了後、大学側のご来賓として田野俊一学長から「4 年間の任期満了と再任 2 年のご報告～本学が対応すべき国の重要政策の実施状況と再任 2 年間の抱負～」と題してご挨拶を頂き、目黒会森淳会長からは目黒会の現在の活動内容などについてご挨拶を頂きました。森会長から助成金が竹田総支部長に手渡された後、対面参加者全員の記念撮影が行なわれ 16 時に終了しました。16 時 10 分より電気通信大学副学長(国際化担当)で機械知能システム学専攻および脳・医工学研究センター教授の正本和人様から『認知症と血液の流れ』と題して特別講演を頂きました。

特別講演終了後、会場を大学会館 3 階の『ハルモニア』に移し、17 時 30 分より懇親会となりました。竹田総支部長より開会の挨拶を頂き、大学側のご来賓として田野俊一学長、ご講演頂いた正本副学長、目黒会の森淳会長のご紹介とご挨拶を頂き、その後、関西総支部総支部長の小島宣治様からご挨拶と乾杯のご発声を頂き、懇談となりました。懇談中、首都圏総支部の退任幹事で副総支部長を務めて来られた水戸和幸さんの挨拶文を竹田総支部長が代読、新任幹事の宮保憲治さん、望月英之さん、幹事以外でご参加頂いている方を代表して山森信生さんにご挨拶を頂きました。最後に首都圏総支部顧問の傘義冬さんから中締めの挨拶

を頂き、19時30分に散会となりました。

その後参加者有志による懇親会の2次会を、調布駅東口の『さかなや道場』で行ないました。参加者は11名でした。暑い1日でしたが、皆さん有意義な時間だったという感想を頂きました。



総会後、現地参加者全員での記念撮影



田野俊一学長



森会長より助成金の贈呈



懇親会の様子

2. 新潟地区第1回懇談会(首都圏総支部秋の交流会・北部地区部会総会) (2024年11月2日(土))

11月2日(土)午後、新潟県初の目黒会活動として長岡市において新潟地区第1回懇談会(首都圏総支部秋の交流会および北部地区部会総会)を開催しました。今回の懇談会では新潟県内の会員はもとより、県ゆかりの会員に加え、首都圏総支部からも役員幹部の参加も得て盛大に開催されました。参加者の内訳としては、県内及び県ゆかりの会員12名(内リモート5名)、首都圏総支部9名(内リモート1名)、長野支部1名で総人数22名でした。

当日はアオーレ長岡において、新潟地区第1回懇談会開催趣旨説明に続き、北部地区部会総会、記念講演、新潟県内会員の紹介を実施しました。その後、長岡グランドホテルにて懇親会を開催し、さらに居酒屋に移動しての二次会も11名が参加し、大いに親睦を深めました。

本会合の開催趣旨説明では竹田智彦首都圏総支部長からの挨拶の後、今井高介総支部顧問から新潟地区での開催に至る経緯が説明され、発起人2名として佐藤亨幹事および堀田芳洋幹事が紹介されました。続いて目黒会、首都圏総支部および首都圏北部地区部会の位置づけとそれぞれの活動内容が紹介されました。

北部地区部会総会では、議長：山崎成北部地区部会長、書記：宮澤信一郎副部会長のもと、令和5年度活動報告・会計報告、新潟地区活動始動等に伴う北部地区分会会則の改定、令和6年度活動計画・予

算、役員・役割分担が滞りなく承認されました。

記念講演では、金子覚三条市立大学教授（長岡技術科学大学名誉教授）により「すべる話」と題し、現代の我々の生活に存在する、大・小、重・軽、いろいろな機械の軸受、歯車など様々な摩擦部分について、人工関節等を例に講演されました。

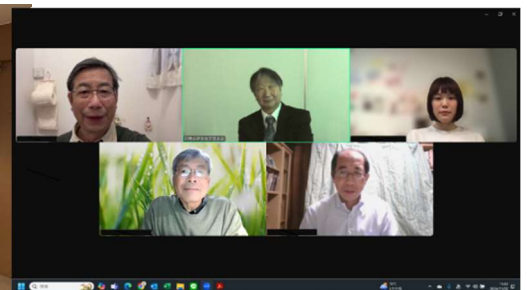
引き続き、長岡グランドホテルに移動し、竹田智彦首都圏総支部長の司会、山崎成副総支部長の発声により、長岡市「乾杯条例」に基づき日本酒にて乾杯し、懇親会が始まりました。各人の紹介では、九谷陶芸家、ブルボン食品会社就職等、ともすると電通大とは接点を感じられない異色の現地会員の興味深い話に宴会終了予定時間を30分もオーバーするほど盛り上がりしました。さらに二次会として、居酒屋寧々家に席を移し、大いに歓談し親睦を深め、興奮冷めやらぬひと時となりました。

また、今回希望者へのオプションツアーも用意され、11月2日のパートⅠでは、長岡市内にある山本五十六記念館と生家、河井継之助記念館を見学、同3日のパートⅡでは寺泊の魚の市場通り（魚のアメ横）を見学致しました。

今回の秋の交流会により、目黒会空白地帯の新潟に第一歩を踏み入れたことは、大変意義深いことだと思います。今後は新潟地区での活動を維持・拡大することを期待したいと思います。



現地参加者全体写真



オンライン参加の皆様



オプションツアー
11/2
長岡市内



会議風景



金子先生ご講演



懇親会

3. 母校発祥地の桜を見る会（2025年3月29日(土)）

2025年3月29日(土)13時より目黒に移転する前の母校発祥地を訪ねて、15回目の桜を見る会を開催しました。小雨降る花冷えの一日でしたが、会員家族4名を含む19名(首都圏総支部13名、長野支部1名、東海支部1名、ご家族4名)が参加しました。集合後、大正7(1918)年12月に本学の前身、電信協会管理無線電信講習所が創設された旧麻布区飯倉町4丁目4番地(現在の東京都港区東麻布1丁目あたり)を訪ねたのち、東京タワー、芝公園・増上寺、NHK放送博物館を自由に散策し、15



時半より炭火焼鳥&産地直送鮮魚九州料理の個室居酒屋 まるまる 新橋本店にて 19 名(首都圏総支部 12 名、長野支部 1 名、東海支部 1 名、ご家族 4 名、マジシャン 1 名)が参加して懇親会を行いました。楽しく賑やかに交流を深め 18 時お開きとなりました。

(1) 母校発祥の地について 竹田智彦(1978 電子工学科)

電信協会管理無線電信講習所は飯倉町 4 丁目 4 番地の小暮幼稚園 2 階に開設されました。現在跡地は心光院の境内になっておりますが、訪ねたところ「確かに戦前小暮幼稚園があり住職の祖父が通っていた。」という話を伺うことができました。1920 年(大正 9 年)12 月、目黒会の名の由来となる東京府荏原郡目黒村大字下目黒五番地に新築落成して移転し、発展していきました。 ※ホームページ掲載「別紙 電気通信大学発祥地の資料」参照



心光院表門と東京タワー

(2) 東京タワー見学 山崎成(1979 機械工学科)

東京タワーツアーは、山崎、上田、望月家族 4 名の 6 名でした。上田さんには山崎が付きそう形となり、望月さんご家族 4 名は別行動となりました。雨という事もあり、懇親会会場までは山崎・上田さんはタクシーで移動しました。個人的には 53 年ぶりに東京タワーに上りました。景色は相当変わっている印象でした。中学生の頃でしたが、海が見えたというのは記憶しています。麻布台ヒルズの超高層ビルが間近に見えて、ド迫力でした。さらに上の階にトライしようと思いましたが、2 時間待ちとの事で諦めました。外国人が 6~7 割って感じてました。バリアフリー対応もあって、さすが日本人のホスピタリティは充実していると感じました。



東京タワーより望む母校発祥地

(3) NHK 放送博物館 渡辺一夫(1973 電子計算機学科)

今年は放送開始 100 年でもあり NHK 放送博物館を訪れました。
(<https://www.nhk.or.jp/museum/>) 1925 年 3 月 22 日、芝浦の仮放送所からのラジオ放送に始まり、同年 7 月、標高 25.7m、東京 23 区内の自然の山では最高峰の現在の放送博物館のある愛宕山に移った NHK の歴史に触れ、昔の受信機や放送設備、懐かしい番組から最新の 8K 技術まで展示や体験を楽しみました。また、当日は電通大志望で実は農工大を出て NHK に入られたという前館長の川村誠さんにお話しを伺いました。川村さんのコラムもどうぞ御覧下さい。「古くて新しい! 放送の博物館 | 館長コラム」<https://steranet.jp/articles/-/534> (写真は NHK 放送博物館玄関にて)



(4) 懇親会 西野幸博(1975 材料科学科)

会場は新橋。竹田総支部長の挨拶と増田副総支部長の乾杯の発声で開宴。その後、今回の呼び物「ともや」さんのマジックが始まるや、一同何とか科学的にタネを見抜いてやろうとグラス片手に真剣に見入るもまるで分からず、喝采のうちに終了。各自に近況を頂いてお開き。外の冷たい雨を忘れ去って余りある熱いひと時であった。



(5) 家族での参加 望月英之(1994 電子情報学科)

今回家族で参加させていただきました。子供二人は東京タワーが初めてでしたので、展望台の下が見える床で喜んでいました。時間の都合で上の展望台までは行けなかったのですが、次回の楽しみに取っておきたいと思います。東京タワーが駅からやや遠く、雨のせいもあって、子供には移動が大変だったかなと感じました。懇親会ではマジックに参加して楽しかったようです。(写真はマジシャンともや氏に紙のスプーン曲げマジックを教わるお子様たち)



4. 役員会

①2024年3月30日(土)、②4月27日(土)、③7月15日(月)、④8月24日(土)、⑤10月25日(金)、⑥12月7日(土)、⑦2025年1月18日(土)、⑧2月15日(土) の8回開催しました。①2024年3月30日(土)、⑦2025年1月18日(土)は対面+オンラインのハイブリッド、そのほかはオンラインで実施しました。

■会計報告および監査報告

期間：令和6(2024)年4月1日～令和7(2025)年3月31日
(単位：円)

No.	項目	収入	支出	残高	備考
1	前期繰越金	369,614		369,614	
2	総会	175,000	182,866	361,748	収入 助成金 30,000円 会費(⑤5,000×29名) 145,000円 支出 懇親会費(⑤5,000×29名) 145,000円 配信機材レンタル費等 11,054円 会場費 26,812円
3	北部地区部会支援金			361,748	秋の交流会に統合
4	秋の交流会 (第1回新潟地区懇談会)	120,000	142,888	338,860	収入 会費 80,000円+ 北部より 40,000円 支出 懇親会費(16名) 120,000円 配信機材レンタル費等 12,888円 講演謝礼 10,000円
5	母校発祥地の桜を見る会 (2025年3月開催)	86,800	95,836	329,824	収入 会費(⑤5,000円×16名) 80,000円 お食事券購入利用差益 6,800円 支出 懇親会 80,836円 講演謝礼 10,000円 マジックともや氏飲食代 5,000円
6	役員会		33,232	296,592	支出 ZOOM年契約支払い 21,349円 第7回役員会会場費 1,100円 Wifi、配信機材など 10,783円
7	利息	150		296,742	収入 2024/8/9 24円 2025/2/15 126円
8	目黒会支部支援金	80,000		376,742	内訳 総会 20,000円(懇親会 29名出席)、 役員会20,000円、その他活動 40,000円
9	雑収入	0		376,742	
10	交通費補助		20,104	356,638	第7回役員会対面参加9名
11	雑費		21,070	335,568	支出 秋の交流会はがき代 20,790円 宛名ラベル代 280円
12	合計	831,564	495,996	335,568	次期繰越金

[繰越金を除いた年度収支 461,950 495,996 -34,046]

監査報告： 2025年7月24日に監査を実施し適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

監査担当 渡辺 一夫



第2号議案： 令和7(2025)年度活動計画および予算**■ 基本方針** ～ 会員間の相互交流、相互支援、相互発展の促進 ～

1. 部会活動の推進：北部地区部会ははじめ都心における活動に参加しにくい地域での活動拡大を目指します。(そのための人的ネットワークづくり、幹部人財の発掘・育成、インフラ整備) 特に昨年度スタートした新潟地区懇談会を継続するとともに、今年度は群馬県で懇談会を開催します。
2. 青年層・現役世代のネットワーク醸成・強化・活用：連帯感とともに目黒会としてのメリットが感じられる活動の展開をめざします。
3. 家族ぐるみ、友人知人も参加できる暖かくオープンな活動を目指します。

■ 活動計画

2025 年度は都心における活動に参加しにくい地域での活動拡大の方針を継続し、新たに群馬県での活動を行い 2005 年本総支部創設より満 20 年(20 周年)へとつなげていきます。引き続き会員間の相互交流、相互支援、相互発展を目指してまいりますので、会員の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

No.	活動項目	概 要
1	首都圏総支部総会	9 月 13 日(土)14:30～19:00 大学内 総会・特別講演(100 周年記念ホール) 懇親会(ハルモニア) 来賓挨拶: 大学/田野学長(予定) 本部/森会長(予定) 特別講演: 国立天文台 教授 井口 聖氏 テーマ : 「宇宙と生命の起源: その最前線そして今後の展望」
2	群馬地区第一回懇談会・秋の交流会・北部地区部会総会	11 月 1 日(土) 14:30～19:00 高崎市 北部地区部会総会・第一回群馬地区懇談会・講演会 (LABI ハンケット高崎) 懇親会 (ホテルメトロポリタン高崎) 講演会 : 群馬大学大学院保健学研究科 准教授 山路雄彦氏 テーマ : 「今後の高齢化の動向とフレイル予防について」
3	新潟地区第二回懇談会	11 月 15 日(土)15:00～19:00 新潟市内 アートホテル 特別講演: 岡村康平氏(元・株式会社ブルボン) テーマ : 菓子食品自販機「プチモール」ビジネスの誕生と展開
4	母校の桜を見る会	2026 年 3 月下旬～4 月上旬
5	役員会 ※下線は対面開催	2025 年 3 月 25 日(火)、4 月 26 日(土)、6 月 28 日(土)、8 月 30 日(土)、 10 月 25 日(土)、11 月 29 日(土)、2026 年 <u>1 月 17 日(土)</u> 、 2 月 28 日(土)

■ 予算

首都圏総支部は 2025 年満 20 年(20 周年)となります。2025 年 20 周年の総会に資金を投入するため、2025 年度は群馬県と新潟県での活動を考慮しつつ、その他は例年並みの収支を想定します。

毎年各交流会の開催は、都度参加費で極力まかなうこととし、前年度の繰越金や助成金は、各交流会等で不足分がある場合(※)に使用しますが、今年度第一回の群馬県、第二回の新潟県での活動には補助を行って相互交流を支援いたします。

目黒会の支部支援金制度も活用しつつ部会活動も含め、支部組織の目的である会員間の交流を通じた「会員の満足度」を高める一助として活用します。

(※)例えば、招待講演などの費用や、会議・イベントの会場費、オンライン会議システム使用料、オンライン参加者の映像・音声品質向上のための配信機材レンタル費用等

・令和 7(2025)年度予算

(単位:円)

No.	項目	収入	支出	残高	備考
1	前期繰越金	335,568		335,568	
2	総会	205,000	203,000	337,568	収入 助成金 30,000円 会費 (5,000円×35名) 175,000円 支出 懇親会費 (5,000円×35名) 175,000円 配信機材レンタル費等 13,000円 講演謝礼 10,000円 準備その他 5,000円
3	群馬地区第一回懇談会、 北部地区部会総会&秋の交流会	171,000	216,600	291,968	収入 会費 (5,000円×25名) 125,000円 北部地区部会より補助 46,000円 支出 懇親会費 (7,000円×25名) 175,000円 配信機材レンタル費等 13,000円 講演謝礼 10,000円 貸会議室 13,600円 準備その他 5,000円
4	新潟地区第二回懇談会	120,000	190,000	221,968	収入 会費 (6,000円×20名) 120,000円 支出 懇親会費 (7,000円×20名) 140,000円 配信機材レンタル費等 13,000円 講演謝礼 10,000円 貸会議室 22,000円 準備その他 5,000円
5	母校の桜を見る会 (2026年4月開催予定)	100,000	128,000	193,968	収入 会費 (5,000円×20名) 100,000円 支出 懇親会 100,000円 配信機材レンタル費等 13,000円 講演謝礼 10,000円 準備その他 5,000円
6	目黒会支部支援金	100,000		293,968	目黒会本部の支援金制度によるもの 内訳 (懇親会 35名出席見込み) 総会 40,000円(30名以上を目標)、 役員会20,000円、その他活動 40,000円
7	雑収入	0		293,968	
8	役員会		25,000	268,968	オンライン会議システム使用料 (Zoom) 23,375円(年契約4月～3月) その他費用 1,625円
9	交通費補助		25,000	243,968	役員会参加者への交通費補助 25,000円
10	受取利息	0		243,968	
11	雑費		67,000	176,968	群馬地区懇談会(①170×300) 51,000円 新潟地区懇談会(①85×170) 14,450円 その他費用 1,550円
12	合計	1,031,568	854,600	176,968	

単年度収支 696,000 854,600 -158,600

第3号議案： 役員および役割分担について

- ・役員および役割分担は変更ありません。任期は2024年度第19回総会から2年間です。
- ・支部代表代議員は総支部長 竹田智彦(たけだ ともひこ)さん(1978年電子工学科入学) (任期は2025年4月1日～2027年3月31日)

注) 2019年度より、入学年(西暦)、学科名(日本語)で会員管理をしています。(入学年がわからないときは卒年を表記)

No.	役 職	氏 名	入学年・学科	備 考	目黒会
1	総支部長	竹田 智彦	1978 電子工学科		支部代表代議員
2	副総支部長	山崎 成	1979 機械工学科	北部地区部会 部会長	
3	副総支部長	宮澤信一郎	2000 情報システム運用学専攻	北部地区部会 副部会長	
4	副総支部長	増田 悦夫	1971 電子計算機学科	北部地区部会 副部会長	
5	副総支部長	岡村 衡	2008 量子・物質工学科	プライム世代担当 主	
6	会計担当	中里 明子	1981 機械工学第二学科	HP 担当	理事、代議員
7	監査担当	渡辺 一夫	1973 電子計算機学科		代議員
8	組織担当	久間由利子	1979 機械工学科	主	
9	組織担当	岩本 茂子	1971 電子計算機学科	副	代議員
10	幹事	篠原 力	1964 電子工学科	OER 気楽な会連携	
11	幹事	宮保 憲治	1970 応用電子工学科	北部地区部会 幹事	2019年同窓会賞
12	幹事	西野 幸博	1975 材料科学科	フェローシップ担当	
13	幹事	來住 直人	1978 応用電子工学科	講演担当(学術関係)	
14	幹事	細井 淳司	1992 電子情報学科	北部地区部会 会計	代議員
15	幹事	望月 英之	1994 電子情報学科	北部地区部会 幹事	
16	幹事	渡辺 和典	2003 システム工学科	HP 担当	代議員
17	幹事	大島 成喜	2003 電子工学科	プライム世代担当 副	
18	幹事	島崎 俊介	2008 情報通信工学科	会場担当	理事
19	顧問	今井 高介	1971 電子計算機学科	長野県在住	長野支部長
20	顧問	傘 義冬	1971 電子計算機学科	第二代総支部長	
21	顧問	小出 昌寿	1988 電子情報学科	静岡県在住	

以上 第1号議案から第3号議案のご確認とご承認をお願い致します。